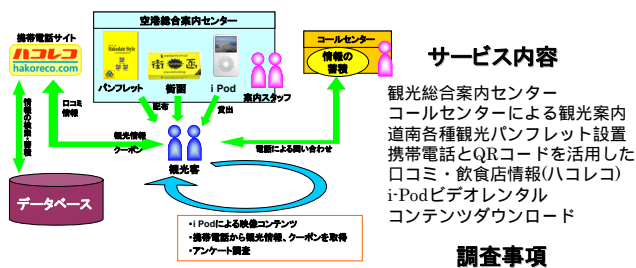


i-Podによる 函館観光案内の 実証実験

2006年9月8日(金)
公立はこだて未来大学
鈴木 克也研究室
大久保 彰之

空港総合案内センターイメージ



実施期間:2006年7月7日(金)～10日(月)
実施場所:函館空港到着口付近

背景・目的

空港利用実態調査 (計5回)



流動調査

アンケート調査

エアポートミーティング



総合観光案内センター設置への希望が大きい

函館発の新サービスの発信 ITと観光



観光案内センター

観光案内サービス



i-Podコンテンツの紹介

学生10名程度で案内、アンケート、パンフレット等を配布した。

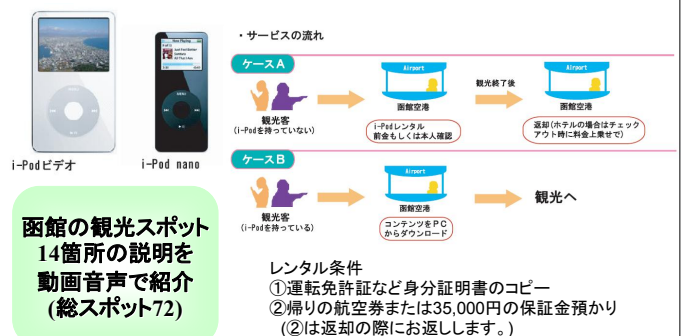
配布物

配布枚数:モバイル観光マップ1500枚
街 図 800セット

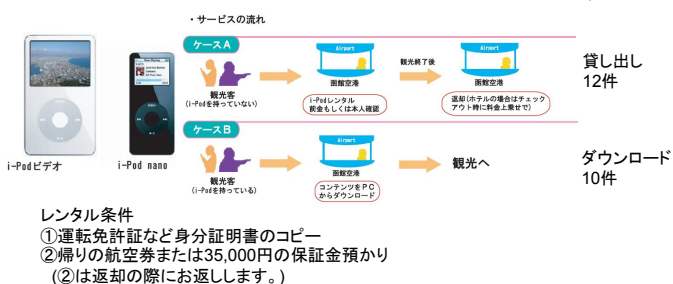


i-Podビデオレンタル・ダウンロード サービスの流れ

昨年の10月に日本に初めてi-Podビデオが入ってきた。



i-Podビデオレンタル・ダウンロードの実績



※貸し出しの保証条件が厳しいこと、返却箇所が函館空港に限られること
によって借りられない方が5名いた。

i-Pod利用者アンケート調査結果

- 回答者:23人(男性14人 女性8人 不明1人)
- 年齢20代、30代で75%程度である。
- 利用者の満足度は9割以上が満足している。
- 他の地区でも同様のサービスがあれば利用したい。

レンタルの際の保証として

・身分証のコピー17人 帰りの航空券2人 定価の現金2人

利用料金の目安

・500円程度9人 1000円程度13人 2000円程度1人

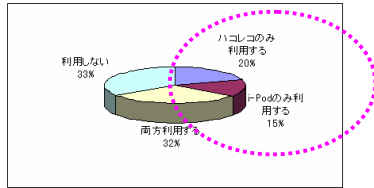
フリーコメント

- ・英語版といったような海外向けがあると良い。
- ・観光情報だけでなく、地図や飲食店の情報があると良いと思った。
- ・もっと安い機器であると良い。
- ・ホテルに帰ってからや移動中に聞くだけでもよかった。
- ・名所だけでなく、イベントやお土産の情報もあると良い。
- ・観光している最中にはあまり見なくて、夜や市電の移動中や明日どこに行くのか決めるときに役にたった。

観光客へのアンケート調査結果

- 実施日時 : 7月7日～10日 7時30分～19時
- 実施場所 : 函館空港ビル内
- 回収サンプル数 : 356

ハコレコ・i-Podサービスの利用



ハコレコを利用したいとの回答者が52%。i-Podを利用したいとの回答者が47%。
情報発信の仕方によっては需要があると考えられる。

i-Podビジネスの 今後の課題と展望

i-Pod観光案内サービスの進化

ビジネス化への仕組みづくりが必要

発地での情報発信

市内ホテルとの連携

レンタカーとの連携

広域コンテンツが必要

大沼プロジェクト

秋に大沼コンテンツを入れたもので
実証実験

サービスの実現へ